



# THE LION TIMES

Lions Clubs International District 336-B



## ライオンズクラブ国際協会336-B地区

キャビネット事務局／

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所6F

Tel. 086-232-7722 Fax. 086-232-1155

E-mail. [info@lc336b.jp](mailto:info@lc336b.jp)

URL. <http://lc336b.jp/>

発行日／2016年(平成28年)10月25日

発行／ライオンズクラブ国際協会336-B地区

発行者／大谷 博

編集／広報委員会(委員長／佐々木孝之)

委員／小松義一・山中英樹・大橋広明・林 正人

表紙・裏表紙写真／倉敷美観地区

2016-2017  
**Vol.2**



# ライオンズクエスト特別委員会 ライオンズクエスト プログラムとは？

ライオンズクエスト特別委員会  
委員長 中嶋徳美



7月28日から8月2日3ヵ所で3つのライオンズクエストワークショップが行われました。

7月28、29日灘崎ライオンズクラブ主催彦崎小学校

7月30、31日美作ライオンズクラブ主催湯郷地域交流センター

8月1、2日岡山西ライオンズクラブ主催で実施されました。50名を超える参加をいただきました。90パーセントが教職員の方たちでした。教職員の方の評価も高く、ライオンズクラブメンバーも受けてよかったとの感想をいただきました。体験された方の感想をいただきましたので是非お読みください。

## 1 ライオンズクエストプログラムとは？

ライオンズクエストはライオンズクラブ国際協会とライオンズクラブ国際財団(LCIF)が推進する包括的な青少年健全育成プログラムです。ライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムは青少年が自尊心を高め、責任感のある、自分も他人も大切にできる健康的な人間に成長するために必要な「生きる力」を育てることを目指します。生徒が日常生活で生じる様々な問題や困難を建設的に解決していく能力を学び、周囲からの悪い誘いを断り、前向きで健康的な生き方をはぐむ教育です。ライオンズクエストの授業は、従来の教師の教え込み型の教育ではなく、生徒自身が問題点を考え、発言をし、自分自身でライフスキルを身につける、生徒参加型、実践型のプログラムです。

## 3 生きる力= ライフスキルとは？

生徒が日常生活で経験する様々な困難を自分の力で乗り越え、前向きに生きていくのに必要な心の能力です。ライオンズクエストは、学校でライフスキルを教える教育支援プログラムです。

- \*人間関係を上手にきずくコミュニケーション力
- \*自分の感情をコントロールし、ストレスに対処する力、責任ある行動を選択する能力
- \*薬物などの悪い誘いに対処する力
- \*人の役に立てるためのボランティア活動を考え実践する力等

ライオンズクエストは、こうしたライフスキルの学習を通して子供たちの生きる力を育て、自分や家族や、友人を大切にできる心と絆を育みます。

### ライオンズクエストの仕組み



ライオンズクラブ(支援協力 JIYD)

## 2 ライオンズクエストプログラムは誰が受講するのか？

小学校・中学校の教職員、教育関係者、保護者にワークショップを受講していただけます。ワークショップを終了した教員のみが実際の教育現場でライオンズクエストプログラムを実施することができます。ライオンズクラブが主催するライオンズクエストプログラムの体験会、教師研修会(ワークショップ)を通して教師に理解してもらい、教室で授業に使っていただくことによって、初めて効果を生み出すのです。

## 4 ライオンズの役割は？

- ① 教育委員会・学校・教師にライオンズクエストを紹介する。その後ライオンズクラブが説明会や体験会を開催し、ワークショップに参加するよう啓発する。
- ② ワークショップを各地区で開催し、地域内の教員、または教育関係者に説明会・体験会・ワークショップへの参加を推奨、費用を支援する。  
\*ワークショップで教師を指導するのは、LCIFから認定を受けた「ライオンズクエスト認定講師」が担当します。クラブ員が講師をすることはありません。  
\*ワークショップとは1920年頃アメリカで生まれた体験型の講習のことです。  
\*ライオンズクエストでの「ワークショップ」は『参加者(教職員および教育関係者)が専門家(ライオンズクエスト認定講師)と共に「ライオンズクエストプログラム」を体験しながら内容・指導方法を学ぶ場』のことです。
- ③ 校内型ワークショップの実施を学校に推奨し、費用を支援する。
- ④ ライオンズクエストプログラムの学校への導入を推進し、支援をする。
- ⑤ 費用はLCIFが75%を負担します。

以上ライオンズクエストプログラムの大きな説明をしました。なじみのない言葉が多いのでわからないことも多いと思います。クラブで、ゾーンで、リジョンで説明会、体験会を開催してください。キャビネット事務局もしくはライオンズクエスト特別委員会にどんなことでもかまいませんのでお尋ねください。

# ライオンズクエスト 開催

## 岡山市立彦崎小学校ワークショップ報告



- 実施 / 7月28日(木)・29日(金)
- 会場 / 岡山市立彦崎小学校
- 主催 / 4R1Z 灘崎ライオンズクラブ
- 講師 / 寺本之人 (JIYD)
- 参加者 / 灘崎地区校長・教頭を含む教員…10名  
元校長(現大学院生)…1名

合計11名

学校と家庭だけでなく、地域として青少年健全育成に関わる奉仕を行いたい。またその3つの輪を強くすることに貢献したい、との思いから灘崎中学校区にて継続して行っているライオンズクエストも4回目を迎えました。本年も各校の校長先生方にご理解とご協力を賜り、7月28日、29日に岡山市立彦崎小学校にて開催いたしました。

お忙しい中ワークショップにご参加下さった先生方からは、『刺激的な2日間でした。有難うございました。』

『2学期からの学級運営にしっかり取り入れていきたいです。』

『もっと周りに、ライフスキルについての考え方を広げてゆきたいです。』



等のコメントを頂きました。地域の方、近隣のライオンズクラブからも約20名の方が見学に来て下さいました。より多くの方に知って頂き、先生と生徒との関係だけでなく実生活の中で生かされると、結果として地域の活性化に繋がると思います。

校長先生方、参加して下さいました皆様、今後とも宜しくお願い致します。



灘崎LC 鍵山仁実

## ライオンズクエストプログラム「ワークショップ」に参加して



就実大学大学院  
教育臨床心理学コース院生  
松本久香

このたびは2日間の研修の機会をいただき、ありがとうございます。かねてからぜひ勉強をさせていただきたいと思っていましたので希望が叶い、研修終了後はとても前向きな気持ちで帰路につくことができました。「これは子どもたちに使える!」と思えたからです。

私は小学校教員としての経験の中で、年々「心」を育てるということの必要性を重く肌で感じるようになってきていました。そのための取り組みを学校ぐるみで主に体験学習という形で少なからず実践してきた自負はあります。しかしその間にも全国的にはますます様々な青少年の問題行動・不適応行動が頻発してきている昨今です。

今まさに現場に立つ先生方は大変な努力をされ、「心理教育」の必要性を感じながらも、何をどこから始めたらよいかと手をこまねいていらっしゃる現状があるのではないかと容易に想像されます。

このプログラムは目的・対象・方法が明確ですから、研修後は持ち帰った資料を参考にすればすぐにでも学級や学校で実践できる素晴らしい内容だと実感しました。私たちの研修会場でも2日目にはグループに分かれて教室での実践を想定した模擬授業を発表し合ったほどです。今回の研修会に教育委員会公認のもと学校ぐるみで若い先生方がたくさん参加されていることを頼もしく感じました。認定講師の先生の温かい雰囲気と安心安全に配慮された巧みなご指導ぶりにリードされて、忘れかけていた現場感覚や年齢の差を克服して安心して受講できましたし、充実感を覚えました。教室で担任の先生にこのような指導を継続的に受けた学級集団は変容すると思われました。さらなる取り組みの広がりが、「心の教育」「生きる力の教育」の一つの柱になることは間違いなく、期待されることです。

元校長(現大学院生) 松本久香



## 美作湯郷地域交流センターワークショップ報告



- 実施 / 7月30日(土)・31日(日)
- 会場 / 湯郷地域交流センター
- 主催 / 3R1Z 美作ライオンズクラブ
- 講師 / 寺本之人 (JIYD)
- 参加者 / 美作市教育長・先生方…13名  
ライオンズクラブメンバー…5名

合計18名

公募型ワークショップを開催するに当たり、まずメンバーにライオンズクエストを理解してもらうのが一番肝心だと気がきました。次にメンバー以上に内容が分からない先生方にもどのようにすれば参加して頂けるか難問でした。

まずは資料集め、JIYDから頂いた資料だけで無く、今までに開催されたクラブの資料を集め出来るだけ解りやすいように抜粋し、資料持って市長、教育長、親しい校長先生方を巻き込み、市内の学校に案内状を送り伺い、近隣市町村の教育長にもお願いに伺いました。2年前にクエストセミナーを行っているのもう少し参加が望めると期待していましたが、先生方は他の研修が多くあり2日間がネックになり、思ってた以上に人数集めは大変でした。他クラブメンバーの参加も有りどうにか開催にこぎつける事ができ感謝しています。会場準備はJIYDの資料に基づきメンバー全員で割り振りをし行いました。

ワークショップが始まり最初は皆さん戸惑いが見られましたが、時間が経つにつれお互い声も掛け合うようになり、とても充実した2日間に成ったと見られました。

又、メンバーの参加により違う視点からの意見交換が出来たことが良かったと思います。

先生方はいつもの研修と違うスキルを身につけ、学校教育の場で発揮して頂ければありがたいです。

当初はワークショップには見学が許されないと聞いていたのですが、今回は良いと言われたので、メンバーは中でサポートが出来内容がよく分かり良かったと思います。

又、私は偶然にも同じ寺本講師に、前回のワークショップを受けていたので復習が出来ました。

反省点として

1. 参加者集めはもう少し早い段階から市長、教育長、校長先生方と打ち合わせを行う事。
2. ワorkshopの見学出来るのなら案内状の中に見学の項目を入れ、先生方に少しの時間でも見学に来て頂ければ次のワークショップに繋がるのではないか。
3. 日程2日間がやはり先生方には学校行事、個人参加にしろ無理があるように思え早くから校内型で計画し、学校行事に取り入れてもらうことで参加人数の確保しやすい。
4. メンバーの参加は少なくとも1グループ(5~6人)に1人は必要だと思える。

JIYDを初めキャビネットの方々色々ご指導ご協力頂き有り難うございました、又参加して頂いたメンバーの皆様ご協力感謝します。

至らないところもありましたがどうか開催出来、何事も無く終りほっとしました。

次は校内型をしようとクラブ内で計画しています。

美作LC 中村末廣

## 岡山市立足守中学校ワークショップ報告



足守中学校校長  
藤原孝憲

- 実施 / 8月1日(月)・2日(火)
- 会場 / 岡山市立足守中学校
- 主催 / 2R1Z 岡山西ライオンズクラブ
- 講師 / 寺本之人 (JIYD)
- 参加者 / 足守中学校・興除中学校・  
岡山県立成徳学園校長・教頭を含む教員…25名  
笠岡東LCメンバー…1名

合計26名



本校の学区は、岡山市の北西部に位置し、総社市に隣接した山間部を多く含む比較的大きな学区で、学区の面積は70平方キロメートル、高低差は数百メートルにおよんでいます。学区南部の足守小学校区には、関白秀吉の妻女である北の政所(おね)の兄、木下家定を初代藩主として明治維新まで続いた陣屋町が今も当時の面影を残し

ており、江戸時代の医師として有名な緒方洪庵や白樺派の詩人木下利玄の生誕地でもあります。北部の蛍明小学校区は吉備高原から流れ出る清流足守川のせせらぎがのどかな山間地帯で、源氏ボタルが生息し、毎年6月上旬にはホテルまつりが開催されています。学区の特産物では、「足守メロン」が有名です。世帯数は約2,900世帯、人口



は約6,600人ほど、高齢化が進んでいます。三世大家族も比較的多く、子どもたちを家庭や地域で温かく見守り育む雰囲気にあふれています。このよ

うな地域にある本校は現在、全校生徒133人、1年・3年、特別支援学級が2クラス、2年生が1クラスの小規模校で、落ち着いた環境のもと日々の教育活動を行うことができています。また学区にある2つの小学校それぞれも学年1クラスずつの小規模校であり、中学校に進学した際、学年の人数が40人を超えた場合2クラスに分かれることができます。また、北部を学区とする蛍明小学校は福谷小学校、高田小学校、大井小学校の3小学校が平成25年に合併した後、足守中学校校舎の建て替えを機に平成26年度から足守中学校と一体型施設の中で学舎を同じにしています。廊下を挟んで小学生と中学生が生活する環境で、蛍明小学校の児童は中学生の日頃の生活を見たり、中学生と合同の活動をもち交流をしたり、職員も兼務で小中学校の先生がそれぞれの授業に入っていたりしています。また、南部を学区とする足守小学校とも中学生が小学校の校門で月1回あいさつ運動を行ったり、教員が兼務授業を行ったりしながら中学校との連携を深めるように取り組んでいます。このことにより、中学進学時には中1ギャップという否定的な感覚より、中学生が数年先のモデルとしてみられ、スムーズに中学校生活に移行することができていると思います。

さて、学区内にある2つの小学校も小規模校なのでクラス替えがなく6年間同じ集団で生活をしています。中学生になった時には別の小学校の児童と一緒にあったりクラス替えの可能性もあったりして、新たな人間関係をつくるチャンスでもあります。40人程度の集団なのでその広がりには限界があります。9か年間、同じ環境に生活する仲間とほとんど一緒に、お互い関係が分かっていることで安心感は生まれますが、一方では関係は固定化されがちです。しかし、中学卒業後の進路先では同じ中学校の出身者が数人または一人のことが多く、自ら全く新しい大きな集団の中で人間関係をつくる場面に直面してしまいます。そこで、中学校生活でのよりよい人間関係づくりのために、また、卒業後に直面する新たな人間関係の構築のために、よりよい人間関係をつくり、広げる力を身につけさせることが求められます。その向上に向けて本校では、①教師主導の一斉授業ではなく、生徒同士が分からないことを分からないと言える関係の中で学び合うことができる協同学習、②人間関係を異年齢に広げる活動として、体育会を全学年縦割りにし競技・応援を行うグループ活動、③休日の部活動への小学5、6年の児童の参加、④小学生との交流行事の実施、



⑤地域の方々と交流する活動地域学習や職場体験学習・福祉体験学習、⑥積極的な地域行事へのボランティア参加等に取り組み、その補完としてライフスキルトレーニングにも取り組んできました。しかし、資料や教材を集め教材化し、より効果的な単元構成や指導方法作り授業を行うことは、日々の教育活動に加えて行わなければならないのでとても困難を伴います。

このような状況の中、岡山市の校長会でライオンズクエストの紹介とこれまで実践してこられた学校のお話をお聞きすることができました。ライオンズクエストには、ライフスキルの向上のみならず集団づくりの視点もあり、本校の取組に生かすことができないかと考え、1月の体験プログラムに2名の職員と参加しました。参加した職員からは、もう少し学びたい、引き出しを増やしたいという感想を聞くことができ、校内研修を実施することにしました。また、ライオンズクラブとして青少年の育成のため、そして、学校の指導力の向上のために、研修参加費や当日の昼食等もライオンズクラブから補助が出ることも校内研修実施の後押しとなりました。

実際に校内研修を実施してみると、自分が生活している環境を意識することができる視点と系統だった多くの教材や資料があり、何より参加者が実際に体験できる場面がたくさんありました。例えば、グループ分けの方法をたくさん経験できたり、実際にプログラムを作り、指導する場面があったりと、体験することでこのプログラムの良さに触れ、指導する際の指導方法とともに生徒の側の気持ちも体験できました。また、多くの教材の中から教材を系統立てて選びつなげることもご指導いただきました。職員も引き出しが増えた、実際に生徒へ指導するときの参考になった、担任だけではなく全職員でいろいろな場面を活用して指導することができそうなどの感想をもつことができました。また、研修の中で、それぞれが自己開示をすることで、職員間の交流が深まり、チームとしての一体感が生まれてきたという感想を述べた職員もいました。今後、この研修をもとに、ライオンズクエストをこれまで行ってきた取組に、どのように取り入れるかを研究し、本学区の生徒の人間関係を広げるためのライフスキルを生徒に身につけることができる指導を実践していきたいと思っています。

最後になりましたが、このような貴重な研修を実施していただきました関係各位に心よりお礼を申し上げたいと思います。大変ありがとうございました。

今後ともどうかよろしくお願いいたします。

足守中学校校長 藤原孝憲







## 1R1Z 岡山ライオンズクラブ

### 旭川一斉清掃

- 8月7日(日)
- 後楽園外周



8月7日(日)の旭川清掃活動に、メンバー21名と奥様方3名、計24名参加していただきました。

いつものことながら、ごみはあまり無く、成果の少ない清掃と思われがちですが、多くの方が参加することで、ライオンズクラブが奉仕団体であることが証明されると思います。

今後は家族の方、特にお子様に参加していただけるようにしたいものです。

参加くださった方々、朝早くからありがとうございました。

藤原 直樹

## 1R1Z 岡山ライオンズクラブ 岡山さくら支部

### フリーマーケット

- 9月19日(月・祝)
- 岡山ドーム



9月19日にライオンズクラブ100周年記念事業の一環として、新アクティビティ、フリーマーケットを行いました。目的は、子ども食堂さんへの寄付です。

実行委員会を立ち上げ、ミーティングをかさねたかきもあり、初回にしては大成功だったと自負しております。売上も予想金額より倍以上となりました。

商品提供の呼びかけ、集荷と商品の保管等、すべて順調にすすみ、値付けが思ったより難しいと感じまし

たが、ほぼ完売となりました。

岡山ライオンズクラブの先輩方よりたくさん商品の提供をして頂いたことが、この成果へとつながったと思います。

また当日は差入れ等、現地でも応援してくださり、商品のお買上も協力頂き、メンバーとの交流にも繋がったアクティビティでした。

そして皆でやり遂げた達成感も味わうことができました。

断捨離が必要といわれている昨今にあったアクティビティではないでしょうか。

毎年恒例のアクティビティにしたいと思えます。

予定通り、子ども食堂さんへのクリスマスプレゼントと折り紙のプレゼントを予定しています。

喜んでくれるかな〜♪

堀川 洋子

## 岡山ライオンズクラブ 岡山ライオンズクラブ 岡山さくら支部 岡山操山ライオンズクラブ 絆支部

### 合同西川清掃活動

- 8月21日(日)
- 西川



8月21日(日)に恒例となっております西川清掃に、岡山LC、岡山LCさくら支部と今年は岡山操山LC絆支部さんと、合同西川清掃活動を行いました。

今年も上流班、中流班、下流班に分かれての作業となりました。嬉しいことに年々ゴミは減ってきていますが、鍵や指輪、携帯電話…と西川でドラマが繰り広げられているようです。

ゴミからは、別れや喧嘩ばかりのイメージですが、近年では蛍も飛び交いますし、ポケモンGOでも人気になっています。

実際に川へ入ってみると水も綺麗で魚もたくさんいます。

観光客も増えて休憩している方もよく

見かけます。

緑あふれる西川緑道公園でありたいものです。

朝から皆で気持ちよい汗をかくことができました。

参加された皆様、お疲れさまでした。

堀川 洋子

## 3R1Z 津山やよいライオンズクラブ

### 第38回津山納涼ごんごまつり IN吉井川にて薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」の啓発活動実施

- 8月6日(土)~7日(日)
- 津山市吉井川河岸緑地公園



今年度の安全環境青少年委員会の活動事業の一つに薬物乱用防止啓発活動を計画しました。

津山市恒例行事としての納涼ごんごまつりIN吉井川にて薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」を津山市民に積極的にアピールしました。当日は、岡山県美作保健所衛生課と特定非営利活動法人リカバリーポイント鳥取ダルクの協力を得て「薬物依存症」がいかに身体に悪影響を及ぼすかを大いに伝えることができました。

赤枝 輝明

## 第53回 津山市中学生野球大会支援

- 8月6日(土)・8(月)
- 津山市勝部 「津山スポーツセンター野球場」



今年も津山市の夏の恒例行事に

なっている「第53回津山市中学生野球大会」が津山市スポーツセンター野球場にて盛大に開催されました。我がクラブからも開会式・閉会式に出席し夏空の下、野球少年達の健闘を祈り、頑張りを称えました。

赤枝 輝明

## 津山市へ卓球台 一台を贈呈

- 8月7日(日)
- 岡山県津山総合体育館



津山市教育委員会へ社会体育の推進活動支援として老朽卓球台の更新分として津山市卓球協会・津山市長杯卓球大会開会式にて卓球台一台寄贈の目録贈呈式を行いました。

赤枝 輝明

## 「弥生の里」の清掃奉仕活動

- 8月24日(休)
- 津山市沼「弥生の里」



我がクラブの名前の由来の地でもある「弥生の里」の清掃奉仕活動は、発足以来継続事業として毎年8月に早朝例会として行っています。

今年も晴天に恵まれ、午前6時より「弥生の里」にて早朝例会を開催しその後、原田津山市教育長 他津山市教育委員会の職員7名の参加を得、41名で約1時間草刈り作業をし気持ちの良い汗を流しました。作業後は、当クラブの財務計画委員が調理した「豚汁とおむすび」に舌鼓を打ちながらしばらく談笑し食事を

終えて散会しました。

赤枝 輝明

## 3R1Z 津山鶴山ライオンズクラブ

### チャリティ売店

- 8月7日(日)
- 津山鶴山公園 鶴山館前



8月6日~7日、第38回津山納涼ごんごまつりが、吉井川河岸緑地を主会場に開かれた。

花火がメインの2日目は天候も恵まれ8万人近くの人々が繰り出したのが、身体の不自由な人達は車イス等で鶴山公園内の特別席で観賞した。津山観光協会・津山車イスの会との共催で我がクラブはチャリティ売店を出店し収益事業委員、平成支部員の若い力を中心にクラブ員総出で販売に汗を流した。

この収益金は今後の社会奉仕活動に活用する。

吉田 勉

## 献血奉仕活動

- 9月11日(日)
- 市内スーパー ウェストランド



毎年度2回の献血奉仕活動を実施しているが、今年度1回目の活動を去る9月11日、市内ショッピングセンターウェストランドにて岡山県赤十字血液センターに協力して会長他クラブメンバーが来店客に啓発用ポケットティッシュと絆創膏を手渡し、献血を呼び掛けた。

献血受付者は71名で中に不適応者13名で実質58名より400mlの献血で23,200mlの献血実績であった。

吉田 勉

## 3R2Z 真庭旭ライオンズクラブ

### 夏季真庭サッカー大会 《少年の部》を後援

- 6月12日(日)
- 蒜山高原スポーツ公園サッカー場



第47回夏季真庭サッカー大会が開催され《少年の部：真庭旭ライオンズクラブ杯》に優勝トロフィを寄贈した。小学生が低学年・中学年・高学年の3ブロックに分かれて40チーム500名の参加により、梅雨の晴れ間の蒸し暑い日に熱い戦いを繰り広げた。

互いに日頃の練習の成果を発揮し、サッカーを楽しみチーム同士の交流を深めることができた有意義な大会となった。

飯田 紘治

## 献血推進活動

- 8月8日(月)
- 久世保健福祉会館



久世保健福祉会館において献血が行われ、受付者全員に粗品を進呈した。

この日の為に数週間前から会員やご近所さん、知人等の会社や店舗等にチラシを配布してPR活動を行っており、当日は猛暑日となったが





受付時間中は次々と来場者があり多くの方に協力を頂き実施できた。

献血結果  
受付者40名  
(400ml×採血者36名=14,400ml)

馬場 寿彦

## 献血推進活動

- 9月12日(月)
- 勝山病院



今年度2回目となる献血を勝山病院にて実施した。限られた時間ではあったが、病院職員をはじめ・近隣住民など多くの方に来て頂くことができた。また今回も当クラブメンバーのL富永知行とL谷本彰良が献血を行った。

献血結果  
受付者34名  
(400ml×採血者27名=10,800ml)

馬場 寿彦

## 3R2Z 落合ライオンズクラブ

### 愛の献血に協力

- 7月14日(木)
- 8月17日(水)・22日(月)・24日(水)
- 北房支局・美咲町旭保健センター  
ショッピングセンターサンプラザ  
落合病院・金田病院・向陽台病院  
河本医院



受付者 232名

採血者 188名  
採血量 400ml×188名=75,200ml

落合ライオンズクラブ結成以来「愛の献血運動」に協力、今年も血液不足の暑いこの時季に、落合・北房・旭の7会場で、事業所、買い物客、病院の職員に呼びかけ献血を実施。少子高齢化の中とはいえ多くの方々の協力を得ることが出来ました。

福島 正明

## 3R2Z 蒜山ライオンズクラブ

### 蒜山観光協会等と合同でクリーン作戦を実施

- 7月22日(金)
- 蒜山高原一帯



夏休みの観光シーズンを前に、蒜山観光協会や諸団体と合同でクリーン作戦を実施しました。

暑い日でしたが、たくさんの観光関係者やライオンズクラブ会員が集まり、数班のグループに分かれてごみを拾いました。

全体的にごみの量は少ないようでしたが、中には大きなものもあり、改めてこのような活動の大切さを実感しました。

今後も観光地の美化活動として継続していきたいと考えています。

二若 修

## 3R2Z 湯原ライオンズクラブ

### はんざき祭りに協賛

- 8月7日(日)・8日(月)
- 湯原温泉街

地元湯原温泉の夏祭り『第55回はんざき祭り』に協賛。はんざきとは、国の特別天然記念物オオサンショウウオのこと。湯原温泉は、はんざきの生息地としても知られ、そのはんざきに因んだお祭り。はんざきの山

永山 延子

車やねぶたが登場する他には類をみない湯原温泉ならではのお祭りで、地元を始め観光客も一緒になって盛り上がる。

小河原 靖弘



## 4R1Z 倉敷ローズライオンズクラブ

### 倉敷ローズライオンズクラブチャーター記念花壇へ日々草の植え付け及び管理

- 7月20日(水)
- JR児島駅前  
倉敷ローズライオンズクラブチャーター記念花壇



倉敷ローズライオンズクラブではクラブ結成記念として、四国への玄関口であり、瀬戸大橋にも近い児島駅南側に、継続事業としての花壇を整備し、四季折々の花を25年間咲かせ続けてきました。そのため、会員は花の植栽、施肥、剪定、草抜き、水やりなどの作業を年間を通じて休むことなく行っています。今回も、事前に土を耕し消毒し、肥料を散布して肥沃な土壌作りを行った上、当日は朝からの猛暑の中、倉敷市緑地課から配布された夏の花「日々草」350株を汗を流しながら植付けました。幼い苗が熱暑に弱らないよう毎日、水を与え見守った結果、今ではしっかり根を張り茎も伸びて、花壇いっぱい、色とりどりの花を元気に咲かせています。これからも季節の移り変わりごとに花を植え替え、多忙な通勤通学の人々や観光客、通行人の目を楽しませ、ひと時の安らぎを感じて頂けるよう日々手入れを続けていく予定です。

砂田 旬信

## 4R2Z 水島中央ライオンズクラブ

### 倉敷芸術科学大学留学生への奨学金贈呈

- 9月6日(火)
- ヘルスピア倉敷



クラブ結成時よりの継続事業である倉敷芸術科学大学留学生への奨学金贈呈が行われました。6人目の奨学生となったスリランカからの留学生ティリニさんの挨拶は、まだ1年という留学期間にもかかわらず原稿なしで、流暢な日本語によるものでした。また選考のため提出された書類はとて丁寧で美しい日本の文字で書かれていました。

贈呈が行われた9月6日は、1951年のサンフランシスコ講和会議で当時のジャヤワルダナ・セイロン蔵相が、仏教の慈悲の心で日本の主権を擁護する演説をした日であると、仁科鉄之介会長よりお話がありました。

後に大統領となったジャヤワルダナ氏は、遺言により日本人へ角膜提供をした程の親日家でした。スリランカとの深いつながりに想いを馳せた特別な例会となりました。

## 5R1Z 倉敷真備ライオンズクラブ

### 井原線橋脚に絵を描こう

- 「始まりの会」…7月20日(水)
- 「完成式」…8月24日(水)
- 期間…7月20日(水)～8月19日(金)
- 井原線橋脚



田園の中を東西に走る井原線が町の1つのシンボルとしてあります。その橋脚に井原鉄道の協力のもと、中学校2校の美術部員に絵を描く場所と材料の提供を行いました。この事業も今年で10回目となり、橋脚を彩る絵は14枚になりました。生徒たちが自ら図案を作成し、今年は郷土の偉人である吉備真備と夕暮れの下をテーマに描くことになりました。メンバー、学校関係者が橋脚下へ集まり、「始まりの会」からスタートし、約1か月、生徒たちはひたむきに絵の作製に取り組みました。メンバーや保護者から応援の飲み物の差し入れがあり、絵は一筆ごとに色づき、形づけられていきました。「完成式」でお披露目された絵は町のもう1つのシンボルでもあります。この事業は青少年健全育成であるとともに子どもたち自らの地域への貢献となっていると感じます。

林 剛志

## 献血推進運動

- 8月3日(水)
- 真備保健福祉会館



今年で17回目となります。今回は血液が不足しがちな夏場を実施しました。今年度は環境保全委員長が中心となり、地域住民、企業、公共施設に献血のチラシの配布、声掛けなど、周知活動を強化しました。その結果、大勢の方に献血に協力していただくことが出来ました。献血に来ていただいた方、全員に卵やごみ袋、牛乳などの記念品を贈りました。

<実施内容>

受付数 51名  
献血者数 45名  
献血量 400ml×45=18,000ml

林 剛志

## EM事業

- 9月15日(土)
- 真備町内 小学校5校・中学校2校  
支援学校1校 合計8校のプール



今年で8回目となる継続事業です。真備町内の小・中学校、支援学校、合わせて8校へEM活性液の運搬と投入しました。環境教育であるEMについて理解を求めため、今回は事前にEMの説明を行う学校、投入する児童、教職員数など、学校にアンケートを行った結果、8校のうち4校ではEMの働きなどをメンバーが説明することになりました。子どもたちは川や海を守ることを意識し、メンバーと一緒にEM活性液を投入しました。EM活性液により、ヘドロの発生が抑制され、プール清掃が年々、楽になったとの学校からの声。EM事業は水の浄化とともに子どもたちの環境保全への意識づけに大きく役立つことができたと思います。

林 剛志

## 5R2Z 倉敷阿知ライオンズクラブ

### 資金獲得事業のため、倉敷天領夏祭りに出店

- 7月23日(土)
- 倉敷市阿知2丁目  
(アルクレイン駐車場)



今年も「第46回倉敷天領夏祭り」に、メンバーの会社駐車場にて屋台の出店をしました。

今年はディズニーシー15周年記念パレードがあり、例年より早い時間





帯から、家族連れ、若者たちで賑わい、8年目を向かえた、出店には、若いメンバーからチャーターメンバーまで参加しました。

当日は、メンバーが連携して、13時よりセッティングをし、開店後は、呼び込み、洗い物をこなし、コッスを覚た焼きそば・フランクフルトを焼き、生ビールをつぎ、かき氷をつくり、次々と行き交うお客様のもとへと売れていき、全商品完売となりました。

また、メンバーの家族も遊びに来てくださり、メンバー同士の絆にも役に立ち、活気ある倉敷阿知ライオンズクラブのスタートがきれしました。

萩原 徳義

## 5R2Z 倉敷中央ライオンズクラブ 第4回バトン演技披露及び講習会

- 8月28日(日)
- 水島体育館



平成28年8月28日(日)に水島体育館において、ライオンズクラブ国際協会100周年記念奉仕チャレンジ「第4回バトン演技披露及び講習会」を開催しました。

赤澤会長挨拶により開会し、中学生・高校生の集団講習を約1時間行なった後、小学生以下の子供を交えた団体演技指導が1時間行われ、その後に招待講師の練習を見学して午前中の講習を終了した。

午後からは「世界バントワーリング選手権大会」の銅メダリストである高橋あすか招待講師(バトンスタジオA&B所属:東京都)による模範演技と受講生全員を対象にした演技指導が2時間に渡って行なわれて講習会が無事有意義に終了しました。

常日頃からバントワーリングの練習に頑張っている子供たちが、世界トップレベルの講師の演技を間近に見ることができ、直接技術指導を受ける機会に恵まれたことの喜びが伝わってきました。

また、講習会の終了後に各チームの生徒さんたちが順次整列して、バントワーリング独特の儀礼ポーズでライオンズのメンバーに感謝の言葉をいただき、メンバー全員暖かい気持ちでアクトを終えることができました。

門脇 繁

## 6R2Z 新見ライオンズクラブ 「自然環境の保全に」EM活性液贈呈

- 8月25日(木)
- 新見市教育委員会



新見ライオンズクラブでは、平成21年度から「ヘドロやアオコなどを分解して水を浄化する効果がある」とされるEM(有用微生物群)活性液を水泳プールに投入する取り組みをスタート。好評で要望が増えたことから、23年度より環境教育の一環で教育委員会を通じ市内全小学校へ贈呈している。贈呈式では、山崎靖幸会長が「先生からプールの掃除がしやすく簡単になったと聞きました。児童とともに培養液を作ることで、環境問題を考えるきっかけにしてください」と挨拶があり、市内全17小学校分を中田省吾新見市教育長に手渡した。中田教育長は「自然を大切に教育に活かし、地域を愛する心を育てます」と謝意を表した。

各校1回分は、活性液の原液4リットルを糖蜜2リットルで培養し使用してもらい、来年のプールが始まる前の4月頃にもう1度寄贈を予定している。

木村 正明

## 6R2Z 総社ライオンズクラブ ライオンズクラブ100周年 第20回総社ライオンズクラブカップ ソフトテニス大会

- 8月27日(土)
- 総社北公園テニス場



夏休み最後の土曜日8月27日に、総社北公園テニス場で、総社市近隣の中・小学生、約270名が参加してのソフトテニス大会(ダブルス、トーナメント方式)が盛大に行われました。中学3年生が部活引退後の新人戦として、また夏の風物詩として地域で親しまれている大会を今年も無事開催することが出来ました。

当日は、昨日の猛暑がうそのように吹く風も爽やかで、天候も味方してくれた絶好のテニス日和の一日でした。集中して試合に取り組む選手達、負けて悔し涙を流す選手の姿などが印象的でした。随所で選手たちの気迫の迫ったプレーが見られ、声援や大きな歓声が会場に響きわたりました。

また、今年は、「ライオンズクラブ100周年」の記念大会として優勝ペアには、盾、表彰状のほか図書券も贈呈しました。

青少年健全育成事業としてまた来年この大会が継続出来るように願っています。

福島 登

## 6R2Z 高梁ライオンズクラブ 報道関係者との懇談会を開催

- 7月26日(火)
- 高梁国際ホテル



毎年開催しています、報道関係者との懇談会を今年も7月26日(火)午後7時より高梁国際ホテルに於いて開催いたしました。当クラブより藤井会長、原田情報委員長他8名と

報道関係者6名の出席のもと、今年度の高梁ライオンズクラブの事業計画等を中心にご説明し、その後懇親を深めました。

原田 忠文

## 高梁市内小学校へ EM活性液贈呈

- 9月6日(火)
- 高梁市役所前



9月6日(火)正午より高梁市役所前にて、EM活性液の贈呈式を行いました。当日は当クラブメンバー15名と高梁市内小学校の校長先生、高梁市平田教育長及び教育委員会職員を迎え、EM活性液(2,000リットル)を贈呈いたしました。贈呈式終了後、お集まりの各小学校の先生方にお持ち帰り頂き、プールへ投入していただきました。今年で8年目となり、好評を頂いております。

原田 忠文

## 7R1Z 鳥取いなばライオンズクラブ 第4回森林公園とっとり出合いの森 森林浴ウォーキング大会開催

- 5月22日(日)
- とっとり出合いの森



5月22日、今年で第4回となる森林公園ウォーキング大会を開催しました。当日は、鳥取市のいくつものイベントと重なり、参加者が募れるか心配しましたが、初心者らくらくコース(3.5キロ)に170名。トレッキング

コース(6キロ)に130名、合計300名の参加者があり、開会式終了後、清々しい五月晴れの下、トレッキングコース、初心者らくらくコースの順にスタート。家族連れや、友人同士で、森林浴を楽しむウォーキングに心地よい汗をかき、ゴール後には会員が運営する屋台村にてウォーキングで減ったお腹を満たしておられました。屋台の収益の一部は、社会奉仕事業資金として活用されることになっています。「ノルディック協会」の方の「ライオンズさんのウォーキング大会は、人気のウォーキング大会になりましたね」とのお言葉に、準備の苦勞が報われるようでした。

池田 康利

## 朝の清掃奉仕

- 9月4日(日)
- 梅鯉庵(鳥取市)



今年のアクティビティも梅鯉庵の朝の清掃奉仕でスタートです。台風の影響か、蒸し暑く汗がジトと出るような中、地域の運動会が目白押しにも関わらず、22名と多くの参加者がありました。6時30分過ぎに到着すると、体操グループの先客があり、一緒になって体操する会員の姿も見られました。今年も昨年同様、イノシシよけのネットが張られていて、清掃範囲は、前ほど広くないため、あっという間に終了。集合写真の後、冷たい飲み物で喉を潤し、ピンクの百日紅に惹かれて、イノシシが登場しないうちに解散することに致しました。

山本 隆

## 7R2Z 倉吉打吹ライオンズクラブ 薬物乱用防止出前教室

- 7月9日(土)
- 倉吉市立河北小学校 音楽室



7月9日、河北小学校にて、薬物乱用防止教室を開催した。L山本 L石賀 L尾崎 L岡野 L猪亦 L西嶋 小谷事務局が参加した。

徳田校長の冒頭あいさつは、いかに我々のこの教室の重要であるかを真剣に話された。

次いで、尾崎第三副会長は、児童の目線に立った優しい挨拶であり、ほのぼのとした雰囲気を作り出していた。

学習に入り、まずはDVDによる20分程度の視聴。薬物乱用によりいかに人間が崩壊していくか、忍び寄る危険な魔の手など学んだ。

次いで、山本講師より、新聞報道を使い、数多くの職種の人たちが、いかにこの薬物にむしばまれているかを知らせた。ユーモアと軽妙な語り口で児童は大いに沸いていた。前ZCの石賀より児童に修了証が手渡され、最後に、進行の西嶋よりまとめの語で会を閉じた。

今回の教室には、鳥取砂丘ライオンズの会長以下4名の教室参観があり、倉吉打吹ライオンズの薬物乱用防止教室に触発され、鳥取でもこの教室を進めていきたいと熱意をもって話されていた。

西島 尊昭



## GLT委員会

昨年度より新しい試みとして、GLT主催のセミナー・研修会では、今まで当地区では殆ど馴染みのなかった他地区から講師をお招きして実施している。その狙いは、先ず第一に初対面の人の講義は、興味を持って受講できる。第二に、他地区の情報を得ることができ、そして他地区の人と顔見知りとなり、今後交流も出来るかもしれない…というところにある。

単なる“義務感”だけでなく、興味津々でセミナーに参加していただきたい。

### 336-B地区ZCスタディ・セッション(公認ガイディング・ライオン研修)

- 実施/8月20日(土)
- 会場/岡山プラザホテル
- 動員数/41名
- 対象/ZC、地区GLTメンバー
- 講師/335-D地区ガバナー 江草 長史

地区の今の最大課題は“会員増強”である。「会員増強」「会員増強」と口ずさんだり叫ぶだけでは駄目である。実際の行動に出なければ、ZCの役目としては不十分である。

また、闇雲に行動にするのではなく、ライオンとしての知識を更に身につけ、新クラブ誕生の暁には、躊躇なく“ガイディングライオン”が務められる、という立場になって動き始めてほしい。

14時30分の開催で全ての終了が19時30分、公認ガイディングライオンとしての目処もたち、更には他地区の人たちとも大いに交流が出来た。GLTとしては、上々のスタートが切れたといえる。



榎本 明

### 336-B地区「次世代セミナー」

- 実施/9月17日(土)
- 会場/アークホテル岡山
- 動員数/65名
- 対象/次世代を担うライオンメンバー
- 講師/336-B地区ガバナー 大谷 博

ライオンズクラブは、“100周年”という輝かしい節目を迎えることができたが、“前途洋々”か、というところ必ずしもそうではない。むしろ、“前途多難”なのかもしれない。

会員減少と会員の意識の低下が、特に336-B地区では進んでいるような気がする。そこで地区ガバナー自らが講師となり、次世代の人に限らず、ライオンズを思う多くの人たちと「これからのライオンズを共に語ろう」というのである。336-B地区において、地区ガバナーが講師を務めた事例は今だかつて無かったのではないだろうか。

そのセミナーに参加したメンバーは、幸運であると言える。地区ガバナーと身近に接し、地区ガバナーからライオンズの多くの大切な知識を吸収でき、更には交流会で他クラブの人たちとも交わり合い、大いに盛り上がる事が出来た。

『楽しくなければライオンズではない!』

これこそが、これからの336-B地区の未来に繋がって行くのである。



榎本 明

## 環境保全委員会

### ■四献運動登録状況調査結果の集計と今後の計画 ■創立100周年記念 336-B地区の取り組みについて

- 実施/8月30日(火)・9月2日(金)
- 会場/336-B地区キャビネット事務局
- 動員数/14名

初秋の候、ライオンズクラブ会員の皆様におかれましては益々のご清祥のこととお喜び申し上げます。また、「四献運動登録状況調査のお願い」につきましては大変お忙しい中ご回答を頂き誠にありがとうございました。ライオンズクラブではかねてより、「四献運動」として【献血】【献眼】【献腎】【骨髄移植】この四つの事業を積極的に展開してまいりましたが、今回の調査結果からは、【献眼】地区会員数の9%、【献腎】地区会員数の5%、【骨髄移植】地区会員数の3%、と残念な結果となりました。

しかし、会員数の92%登録のクラブが有ると、対照的に取り組みの無い0%クラブが有り、リジョンによっても取り組みに大きな差が有ることも解りました。

【献眼】に関しましては1925年、ライオンズクラブ国際大会で講演したヘレン・ケラーがライオンズに対し「暗闇と戦う盲人の騎士」となるよう呼びかけ、国際協会は91年間に渡り失明者など視覚障害者への援助へ力を注いでいます。日本では1961年、当時の岡山県知事であった岡山ライオンズクラブ所属 三木行治が献眼登録第1号となり、それが後のアイバンク設立にも繋がり、岡山県を中心に全国へ広がっていきました。一番に取り組んだ地区としてはこの偉業を忘れてはなりません。

集計結果は、全クラブ会長宛にお送りいたしますので、クラブ例会で是非とも取り上げて頂き、討議検討と登録推進をお願い申し上げます。

環境保全委員会は、336-B地区を挙げて四献運動をさらに推し進める為11月、12月、5月と「四献運動登録状況調査のお願い」を計画しています。献眼に於いて年齢制限はありません。会員死しても“We Serve”皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

小林建雄

## ライオンズクラブ国際協会からの支援事業

### EKSデー

(SO創設者ユニス・ケネディ・シュライバーさんの功績を記念して)

2016年9月24日(土)  
岡山市障害者体育センター

Hap(ヘルシーアスリートプログラム)スペシャルオリックス日本・岡山にて、岡山県歯科医師会様のご協力を得て口腔検診を行って頂きました。

ライオンズクラブ国際協会からの支援により、ライオンズクラブ・SON日本岡山のロゴマークの入ったTシャツ、ポロシャツを贈呈いたしました。

ライオンズクラブからは、榎本GLTコーディネーター、岡嶋GMTコーディネーターが参加し、ライオンズクラブの活動発信と今後も活動に対する支援をお約束し挨拶をさせて頂きました。

知的障害を持つアスリートの皆さんと有意義な時間を共有する事ができたこと感謝いたします。

岡嶋 正和





LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 336-B

「100周年、新たな一歩」

ライオンズクラブ国際協会336-B地区

**第63回 地区年次大会**

期 間 2017年 4月8日(土)・9日(日)

会 場 記念ゴルフ大会  
▶岡山ゴルフ倶楽部 帯江コース  
ライオンズクラブ創立100周年記念式典  
ライオンズクラブ創立100周年記念祝賀  
第63回年次大会 前後夜  
▶ホテルグランヴィア岡山  
第63回年次大会  
▶岡山シンフォニーホール

ホストクラブ  
1R-1Z: 岡山 LC・岡山島城 LC・岡山後楽 LC・津津 LC・岡山パル LC  
1R-2Z: 西大寺 LC・岡山フェニックス LC・愚久 LC・岡山ももたろう LC・岡山城東 LC・岡山さわやか LC  
1R-3Z: 岡山旭 LC・岡山吉備 LC・岡山グリーン LC・岡山ブルー LC  
1R-4Z: 備前 LC・備前三石 LC・日生 LC・和歌 LC・吉永 LC

- 実 施 / 2017年4月9日(日)
- 会 場 / 岡山シンフォニーホール
- 動員数 / 1600名目標

世界のライオンズが正に節目の100周年を迎えました。1917年、メルビンジョーンズは今日の世界のライオンズを想像したでしょうか。人の為に「我々は奉仕する」、この崇高な言葉は皆に浸透し、やがて行動となり、そして多くの仲間を世界中に作りました。今や男性も女性も家族も子どもたちも参加している世界最大の奉仕団体になりました。

日本では昭和27年に東京ライオンズクラブが誕生し、そして336-B地区には、岡山ライオンズクラブが302地区(当時は日本が1地区)の8番目のライオンズクラブとして1954年に誕生しました。その頃は、総社市・高梁市・新見市が誕生し、自衛隊が発足した頃です。

ライオンズクラブ100周年という節目に、336-B地区の最初に誕生した我が岡山ライオンズクラブが地区年次大会のホストを務めさせていただくわけですので、この上ない光栄であることはいまでもありませんが、同じくホストクラブとして支えていただく1Rの各クラブの皆様へ心から感謝申し上げます。更に

は、336-B地区全ての会員の皆様に来年の4月9日には岡山に集結していただき大いに「ライオンズ100周年」を祝いたいと思います。

地区年次大会委員長  
原 一穂



提案ならびに報告事項

- 336-B地区ガバナー 大谷 博  
地区ホームページのリニューアル及びそれに伴うドメイン・レンタルサーバの変更とキャビネット事務局のメールアドレス変更
- GLT地区コーディネーター 榎本 明  
LC100周年記念チャリティー・ゴルフ&新年会開催について
- 青少年健全育成委員長 大源 順也  
今年度国際平和ポスター作品募集に関して  
2016年12月23日(金)  
冬期YCE来日生と岡山後楽レオ生ならびに岡山東国際レオ生とのランチ懇親会の開催

- 環境保全委員長 小林 建雄  
環境保全写真コンテストのお願い  
献眼登録ならびに臓器提供に関するお願い
- FWT地区コーディネーター・FWT委員長 有本 みどり  
第63回地区年次大会において、書き損じはがきや未使用切手の収集する  
昨年度は給食のフォローを行いました、今回はHIVの感染者のフォローや薬を送るため、青少年健全育成の観点からお願いしたい

- Lクエスト特別委員長 中嶋 徳美  
6R1Z・2Z-ライオンズクエスト体験会 開催 2016年 11月 5日(土) 井原市地場産業振興センター  
1R/2R-ライオンズクエスト体験会 開催 2016年 11月 26日(土) 岡山シティホテル厚生町

336-B地区キャビネット事務局のメールアドレスと336-B地区ホームページのURLが変更になりました。《運用開始日2016年10月11日(火)》

336-B地区キャビネット事務局 新メールアドレス info@lc336b.jp  
336-B地区ホームページ 新URL http://lc336b.jp/

新会員の紹介

 ① 御津 ② 中条正志 ③ 宗定 昇 ④ 8月	 ① 岡山マスカット ② 久永和幸 ③ 浅野秀樹 ④ 7月	 ① 岡山マスカット ② 藤井裕史 ③ 松岡茂和 ④ 7月	 ① 岡山マスカット ② 兄玉秀則 ③ 難波智恵子 ④ 8月	 ① 岡山マスカット ② 難波陽子 ③ 難波智恵子 ④ 8月
 ① 岡山マスカット ② 渡邊健哉 ③ 平井一行 ④ 8月	 ① 美作 ② 栗井睦夫 ③ 山下一郎 ④ 9月	 ① 湯原 ② 川崎正弘 ③ 森 正人 ④ 9月	 ① 玉野 ② 立花清孝 ③ 住吉孝文 ④ 8月	 ① 玉野 ② 伏原 直 ③ 住吉孝文 ④ 8月
 ① 玉島 ② 白谷次雄 ③ 瀬尾俊治 ④ 7月	 ① 倉敷 ② 大月美知子 ③ 水田妙子 ④ 7月	 ① 倉敷 ② 池本克行 ③ 岡庄一郎 ④ 7月	 ① 倉敷 ② 片山禎夫 ③ 藤原京子 ④ 7月	 ① 倉敷 ② 深井賢博 ③ 岡庄一郎 ④ 7月
 ① 倉敷 ② 三宅ひなこ ③ 藤原京子 ④ 7月	 ① 倉敷 ② 山本俊夫 ③ 岡庄一郎 ④ 7月	 ① 井原さくら ② 久田修市 ③ 惣台己吉 ④ 7月	 ① 矢掛 ② 木村武志 ③ 坪井利夫 ④ 8月	 ① 鳥取 ② 岸田公男 ③ 西尾慎一 ④ 7月
 ① 鳥取久松 ② 浜本純一 ③ 小池良香 ④ 7月	 ① 倉吉 ② 李 生美 ③ 戸崎隆之 ④ 6月	 ① 再掲載 ② 倉敷天領 ③ 田邊功二 ④ 6月	 ① 倉敷天領 ② 田邊功二 ③ 佐藤慎司 ④ 6月	 ① クラブ名 ② 名前 ③ スポンサー ④ 入会月